



救助科における教育訓練 ～理想の救助隊長像を求めて～

消防大学校では、救助業務に関する高度の知識及び能力を専門的に修得させるとともに、教育指導者としての資質を向上させることを目的として専科教育「救助科」の教育訓練を実施しています。

令和7年度の第90期は、4月16日から6月6日までの日程で実施され、48名の学生が240時間の教育訓練を修了し、無事卒業しました。

救助科では、「安全管理」「現場指揮」「人材育成」の3本柱を軸に、多岐にわたる分野の講義や実際の現場に即した訓練を重ねました。また、「救助人材育成ガイドライン・救助訓練指導マニュアル」に基づき、「理想の救助隊長像」をテーマにした課題研究を実施しました。

実科訓練では、学生自らが企画・立案・調整・運営まで一連の流れを実践する「学生企画訓練」を実施し、約1か月の準備期間を経て、2日間にわたる各種訓練



学生企画訓練

を学生主体で計画しました。近県の教育支援隊に加え、東北地方や九州地方からも特別高度救助隊の教育支援隊の協力を受け、企画・調整及び当日の運営全般に至るまでの評価を受けることで、訓練指揮者としての企画運営力の向上に努めました。

さらに、火災救助、山岳救助、震災救助といった一般的な救助事象から地域性のある救助事象に対する訓練、各地域で発生している多数傷病者への対応、大規模イベントで想定されるNBCテロ災害などの大規模災害対応まで、多岐にわたる内容で訓練を実施することで、現場指揮者として指揮・判断力や安全管理について実践的に習得しました。

校外研修では、日本航空安全啓発センターや東京消防

庁災害史安全教育室を訪れ、改めて人の命の尊さを痛感し、殉職事故を起こさないために、あらゆる手段を講じることを誓う貴重な機会となりました。

最終の課題研究発表では、約1ヶ月半にわたり研究した内容をマインド編、現場編、訓練編に分けて発表しました。ここでは、消防大学校の



課題研究II(発表)

教授をはじめ、消防庁の担当者や講師との意見交換を通じて、「理想の救助隊長像」がより明確になりました。

研修を終えた学生からは、「幹部・指揮者・指導者として、多くの気づきと学びがあり、非常に充実したカリキュラムであり、人として成長できた。」「全国から集結した熱い思いを持った仲間と出会えたことは、今後の消防人生において大きな財産になった。」「理想の救助隊長像として今の自分に何が足りないのか、何をすべきなのかが明確となりました。」といった意見が数多く寄せられました。

最後に、消防大学校で得た気づきをさらに発展させ、素晴らしい人材を育成することで、殉職事故を発生させない組織を作り、一人でも多くの住民の生命・身体・財産を守る活躍を期待しております。



全体写真



緊急消防援助隊教育科指揮隊長コースにおける教育訓練

消防大学校では、令和7年5月8日から5月20日まで、令和7年度緊急消防援助隊教育科指揮隊長コース第30回を実施しました。

このコースは、緊急消防援助隊指揮支援部隊長等の部隊指揮・部隊運用能力向上を目的としており、多くの活動経験を取り入れるべく、能登半島地震や今年発生した林野火災の活動を教訓とし、消防庁の広域応援室と協力し、学科のカリキュラムを作成しました。

本コースでは、緊急消防援助隊の派遣活動経験を活かすため、過去の災害における奏功事例や課題を振り返り、統括指揮支援隊長、指揮支援隊長、都道府県大隊長と立場の異なる指揮者から、派遣時の部隊運用、課題について受講しました。これにより、大規模災害時の指揮運用における重要なポイントをより具体的にイメージすることに繋がっております。

また、大規模災害時に早期に関係機関と協力体制を構築できるよう、医療機関を始め自衛隊、警察、民間重機等の講義と併せ、他機関との活動調整会議や現地合同調整所の運営要領の講義について受講しました。

さらに、消防大学校のシミュレーション施設において、緊急消防援助隊の実践的な指揮シミュレーション訓練を計2回実施しました。緊急消防援助隊の応援側及び被災地の受援側での訓練を通じ、緊急消防援助隊の全体スキームの把握に繋がりました。

そして、消防庁長官の講話では、



指揮シミュレーション訓練



長官講話

大船渡林野火災活動等の説明や今後の緊急消防援助隊の使命と役割について伝えられました。これにより、消防庁と全国の各指揮隊長の共通認識が図られ、今後の活動において、より効果的な災害対応に繋がる心構えができたと考えます。

緊急消防援助隊教育科指揮隊長コース第30回は、74名で実施し、全国北は北海道から南は鹿児島県まで多くの指揮隊長が集いました。全国各地から集まった指揮隊長たちが、情報や経験を共有し合いながら、より高度な能力と知識を身につける場ができたと考えます。

今回のコースを通じて、受講者の緊急消防援助隊指揮支援部隊長等としての部隊指揮・運用能力は一層向上しており、緊急消防援助隊の部隊



講義の様子

活動において、本コースで得た知識と横の繋がりを最大限活用し、全国で多発している大規模災害から、国民の生命、身体、財産を守ることを期待しています。

問合せ先

消防大学校教務部
TEL:0422-46-1712